



栗原小だより

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



令和3年度12月号

令和3年12月1日

「安全」について考える

校長 大井 敏彰

12月は、「師走（しわす）」といえます。その意味を調べると、陰暦の12月に家々で仏事を行うため、僧侶（師）が忙しく走り回ったことが語源だそうです。冬の寒さが厳しくなる中、年の瀬を迎え慌ただしさも増してきます。このような時こそ、安全に十分気をつけて過ごしてほしいものです。

11月に「安全」に関わる行事を実施しました。関連して3つお話しします。

自転車安全教室

11月16日（火）に3年生が自転車安全教室を実施しました。新座警察、新座市交通防犯課、新座市教育委員会、PTAの方々ご協力の下、3年生が正しい自転車の乗り方や安全確認の仕方などについて教えていただき、自転車免許を発行してもらいました。

埼玉県及び新座市では、本日から14日まで、「冬の交通事故防止運動」を実施します。重点目標は「自転車・歩行者の交通事故防止」「横断歩道における歩行者優先の徹底」です。特に、夕暮れ前の「薄暮」の時間帯に事故が多発することが多いそうです。これから冬休みにかけて、家族で外出する機会も多くなります。思わぬ事故に遭わないよう、交通マナーについて、ご家庭でもお子さんと確認していただければと思います。

携帯安全教室

11月17日（水）に、KDDIの方を講師としてお招きし、5・6年生を対象に携帯安全教室を実施しました。主に、軽い気持ちでSNSに投稿しないことやスマホ依存に気をつけることなど、動画視聴により具体例を踏まえてお話いただきました。6年生への「自分のスマホを持っている人は手を挙げてください」との問いに、おおよそ8割以上が手を挙げていたことに驚きました。

これに関して、みなさんは「スマホ脳（アンデシュ・ハンセン著 新潮新書）」という書籍をご存じですか。私も読んでいますが、以下のような小見出しが、大変興味を引きます。

- ・IT企業トップは子供にスマホを与えない
- ・脳の報酬中枢を煽るSNS
- ・SNSが女子に自信を失わせる
- ・スマホ追放で成績アップ

他にも、スマホが人間の脳に与える影響について、具体的に述べられています。一方で、「集中力は貴重品」「運動は対抗策」などの改善策も示されており、大変考えさせられる内容になっています。

いずれにせよ、お子さんがスマホを所持している場合、その契約者は保護者となります。お子さんの心身が大きく成長する今だからこそ、スマホを使うときのルールについて、ご家庭で十分に話し合い、お子さんと十分に確認してほしいと思います。

避難訓練

11月25日（木）の5時間目に、地震と火災を想定した避難訓練を実施しました。感染防止のため昨年度は実施しておらず、久しぶりに実施となりました。教師の指示を聞き、概ね共通行動がとれていましたが、ハンカチを持参していなかったり、移動時の私語が聞こえたりと改善の余地はあったように思います。

講評では、「避難訓練は学習ではない」というお話をしました。学習は失敗しても取り返すことができますが、災害時の避難行動における失敗は命に関わるため、取り返しがつかないことになってしまふからです。東日本大震災が起きてから10年が経過した今だからこそ、大きな地震があっても落ち着いて行動できるよう、防災への意識を高めていきたいと思っています。